

開催日時	令和7年9月19日(金) 19時00分～20時30分
開催場所	web
出席者	間瀬、木澤、小山、岩田、山本、熊谷、樋笠、山口、正木、井貫、桑山、藤、中谷、有吉、桑山、森沢、玉木、上野、中村、小森、松本
欠席者	西原、岩井
記録者	松本
議題1	会長報告
【内容】	
会長行動録(主なもの)	
政治活動/政策要望	8月20日、連盟を介して、県議の先生より、地域での高齢者に対する総合事業を含めた理学療法の活用について意見を求められた。高齢者に対する活動をより積極的に県内で広めたいという意向が伝えられた。また、地域での理学療法活用に関する要望書提出の要請があった。 8月28日、自民党での政策要望会議にて、当初の要望事項(マルチモビリティ事業の継続、急性期リハの人員増、リハ三職種への確実な積み上げ)に加え、地域での理学療法士の活用に関する要望を提出した。短期間であったため、正式ではないざっくりとした要望書となった。 公明党の政策要望懇談会でも、同様に地域でのPT活用に関する提案を求められた。 両党からの要望を受け、地域でのPT活用を推進するための会議体(検討会)の立ち上げ要望を担当理事から提出した。目的は現状の問題把握と、県民の健康長寿に貢献できる活躍の場を作るための施策検討である。この検討結果は各党へ報告し、来年度以降の県の政策に盛り込んでいただくよう進める予定。回復期・急性期マルチ研修会を進め、地域に含めていくことも検討する。
協会関連	協会会長との私的勉強会(情報交換)にて、主に政治活動(選挙)の反省、意見、協会への要望について話し合った。連盟も含めた会としての回答は既に送付済みである。
地域JRAT	地域JRAT(災害時地域リハビリテーション活動支援システム)と県との契約について、兵庫県はまだ締結できていない。現在、県リハの先生と医師会との話し合いを進めている。
議題2	審議事項(協議):アーカイブサイト視聴に伴う日本理学療法士協会生涯学習制度 単位認定について
項目	内容詳細
提案者	担当理事(学術局)
背景	システムのアップグレードにより、アーカイブサイト視聴に伴う単位認定が可能となる環境が整った。代議員理事連絡会からもオンデマンド視聴による単位認定の要望があった。
単位認定の条件	協会が定める「双方向性」と「入退室管理」を満たす必要がある。双方向性については、フォームやメールでの質疑応答により対応を検討している。
アーカイブ掲載案	単位認定を行わない動画(再生速度・分割可能)と、単位認定を行う動画(再生速度・分割不可)の2本立てで準備する。単位認定を行う動画では、最後まで視聴すると入力フォームが表示される方法を試みる。
検討事項	視聴期間:学術局は1ヶ月程度、研修部は2週間という意見がある。登録理学療法士の更新推進のため、より長期の期間設定の可能性も示唆された。
今後の対応	講師リスク:視聴期間が長期化すると著作権侵害のリスクが高まるため、事前に講師に著作権に関する徹底をお願いするか、問題発生時の責任を講師自身に負ってもらう旨を承諾書で明確にすべきとの指摘があった。 運用負担軽減:フォームによる質問集約・対応や、QRコードの活用(スマホ視聴時の課題あり)など、運営スタッフ(担当者)と講師の負担軽減策について、今後詳細を詰める必要がある。 運用方法について、担当で詳細を詰める。予算案の修正も含め、来月再度審議する。
議題3	協議事項:総合事業生活支援体制整備事業への理学療法士の参画検討会について
項目	内容詳細
背景と目的	自民党、公明党からの要望があり、地域・在宅分野における理学療法士の参画推進を検討する。総合事業生活支援体制整備事業へのPT参画を全県各市町で展開することを目指し、検討会を立ち上げる。
総合事業の概要	介護保険における要支援者や虚弱な方(総合事業対象者)に対し、市町が主体となってサービスを用意する事業。特にサービスC(リハ専門職が短期集中で関わり、卒業を目指す事業)が目指されているが、実施市町は少ない。
検討会のメンバー候補	地域に造詣のある理学療法士として、7名程度が挙げられている。
検討会の方向性	まずは現状の問題把握を明確に行い、その上で理学療法士会としてどういう施策を講じるか検討する。既存事業の展開に加えて、新しい事業の創造も議論のテーマとなる。今後、数ヶ月間で施策案を作成し、進捗を理事会に報告する。
議題4	協議事項:来年度の学会予算案について
項目	内容詳細
次期学会概要	大会長は神戸大学の前重先生。テーマは「実装の追求」。会場は小野市(初の開催地)で、対面とオンデマンドのハイブリッド形式を予定している。予算案の収支合計は4,950,000円である。
問題点	予算案の支出項目(当日スタッフ交通費、弁当代)に、外部業者への外注費と学会運営側の費用が混在している可能性がある。また、学会準備にかかった事前の会議費が予算案に含まれていないことが指摘された。学会にかかった費用は全て学会会計に計上し、県士会予算からの補助がそれ以上出ないよう徹底すべきとの指摘があった。
今後の対応	予算案を再確認・修正し、前重大会長に説明の上、来月の理事会で再度審議する。

議題5	報告事項(補足事項)
項目 集中治療理学療法コース	内容詳細 マルチモビリティ患者のためのリハ専門職の要請の一環として、集中治療理学療法コースが今年度から開催される。 関係者説明会は10月19日に神戸会場(甲南女子大学)で開催される。 研修会(本コース)は来年2月7日、8日(土日)に神戸市立医療センター中央病院の研修室で開催予定。座学とハンズオン(実習)が含まれる。予算は県に提出済みの約70数万円である。
社会局担当 者の交代	近畿ブロックの社会局について、担当理事の引き継ぎあり。
代議員理事 連絡会	9月から11月にかけて、各支部を対面またはウェブで巡回している。議題には、昨年度の意見集約・検討案一覧の説明、地域医療構想の進捗に関する聞き取りと研修会案内、およびMVV(ミッション・ビジョン・バリュー)作成に関する意見交換が含まれる。担当理事が11支部すべてを回り、MVV作成のための意見集
支部研修会 案内文の不 手際	第2回支部研修会の案内文について、研修担当者の意図が不適切な形で記載され、講師への確認が不十分であったため、他学会大会長から問い合わせがあった。担当支部長が謝罪し、アプリの案内を修正することでご理解を得た。
岩井先生表 連盟主催研 修会	岩井先生が協会創立60周年記念式典において、厚生労働大臣表彰の受賞者に決定した。 10月10日に日本理学療法士連盟主催の研修会がオンラインで開催予定。
議題6	事務連絡
項目 他府県会周 年記念式典 への参加	内容詳細 京都府理学療法士会55周年(11月9日):会長他1名が参加。 滋賀県理学療法士会50周年(11月15日):会長他1名が参加。
近畿ブロック 協議会関連 斉藤協会長と の意見交換	2月24日に開催される近畿ブロック理学療法士協議会(会長、事務局長、各局会議)に伴い、宿泊が必要となる役員について、京都の逼迫した宿泊事情を踏まえ、早急に予約手配を進める。 10月20日(月)17時から県士会事務所にて、日本理学療法士協会 斉藤会長との意見交換会を開催する。会長他1名が参加確定。他の参加希望者も募集中である。
次回の予定	日時:10月17日理事会
日時・場所	場所:web
今後の予定	